

特定非営利活動法人 緑地雑草科学研究所 2024年6月発行

ニュースレター 14号

目次

活動報告	1
会員投稿記事	1
所属団体紹介	2
編集後記	4



見頃を迎えるハンゲショウ (2024.6 京都)

活動報告

荒廃農地の植生調査

昨年10月に福井県で実施した「荒廃農地植生調査」を責任者の伊藤操子理事がデータを整理・分析し、その結果を雑草インストラクター・福井県の両参加者に配布。5/27、福井県土地改良事業団体連合

会・県農村振興課に報告し、今後の展開について意見交換。

詳細は「草と緑」第16巻にて報告予定。

活動予告

雑草インストラクター

緑地雑草管理の諸場面において指導的役割を担う人材育成を目的に、既存の雑草インストラクターを対象として集合研修を計画。

開催時期 8月～9月

開催地域 東京・名古屋・神戸・福岡（全国4か所）

実施要領

3DA 実践例紹介

参加者の現在取り組んでいる課題等近況報告

伊藤幹二講師・伊藤操子講師を交えたディスカッション

近日、参加募集案内予定。

会員投稿記事

スマレは野草か雑草か グリーンアドバイザー 白崎健悟

スマレは万葉の頃から日本に自生し、変異した種類も含めると200種類以上あるといわれています。ガーデナーの私にとって、野山に自生する山野草というイメージがあります。種類が多いため昔から愛好家が多い植物ですが、園芸店やホームセン

ターでもポット苗を扱うところが増えたことから、ガーデニングを楽しむ一般の人にもちょっとしたブームになっています。そんなスマレですが、都会の真ん中でも意外と簡単に見つけることができる植物でもあります。どちらかという、野草という

よりも公園の芝生やコンクリート目地などの道端にも生える"雑草"として認識している方のほうが多いかもしれません。



スマイレはパンジーやビオラのように種子で増える種子植物ですが、都会のど真ん中でも生きていく理由が、他の植物とちょっと変わっています。スマイレには種子を運んでくれる協力者がいます。それは“アリ”です。スマイレはエライオソームというゼリー状の甘い物質が種子のまわりにコーティングされており、甘いものが大好きなアリが好んで種子を持ち運んでくれるのです。そして、甘い部分が無くなると、アリは種子を捨ててしまいます。捨てたところがアスファルトの割れ目やコンクリート



目地だった場合に、その場所から発芽し花を咲かせます。

このようにスマイレとアリの関係性を教えてくれたのは、当時4歳の息子でした。保育園においてあった図書の絵本を借りてきて私に教えてくれたのです。たくさんある絵本の中から、スマイレの生活環境の本を手にとるところが私の息子。「スマイレはかわいいお花だからお庭で咲いてほしいけれど、アリさんが種を運んでくるまで待つよ」と言っていた息子は今年で8歳になりました。あのときから4年が経った今年の春、おうちの庭でスマイレが咲いていました。これはきっと、アリさんが運んできたおかげだと思います。

そんな可憐なスマイレですが、芝の萌芽時期に根が深く主根が大きく成長するため難防除雑草の一つだそうです。また、バンカー周辺に生えたスマイレにボールが当たるとボールが止まってしまうことから、ゴルフ場の雑草害として認識されているようです。

ある人から見れば雑草ですが、またある人から見れば野草。

そして私は、アスファルトの隙間で健気に咲くスマイレに魅了された一人です。

参考文献

稲垣栄洋. 2019. 四季の雑草図鑑. 宝島社, 127pp.
永江繁政. 2006. わが国における芝地雑草の動態〈九州・沖縄地域〉. 芝草研究 2006 年 35 巻 supplement1 号, 8-12

所属団体紹介

株式会社 ファームプロ 竹内健司

福岡県福岡市で農業分野のコンサルティングを中心に活動しています。本会には前職の株式会社オーレック（現株式会社オーレックホールディング

ス）に所属している時に担当者として入会、独立後に再度入会して活動しています。現在主な事業として以下4つの分野の業務を行っております。

農業関係者向けの勉強会の実施

勉強会については主に地方自治体やJAの部会などからご依頼を受けることが多く、内容も多岐にわたります。最近では雑草管理についての問い合わせが増えているように思います。勉強会ではツール任せの場当たりの管理は止め、雑草が引き起こす問題（経営課題）を考え雑草管理の目的を意識するように伝えています。



芝生植生の維持管理とその機能について

都市部ではアスファルトコンクリートで表土の多くが覆われており、それに起因していると思われる内水・外水氾濫、ヒートアイランド現象などの問題が起きています。特に九州では線状降水帯の発生による洪水被害が毎年のように発生しており治水技術の見直しは喫緊の課題であると考えています。

雨水を通さないアスファルトコンクリートだった場所を芝生など緑地に変えることで河川への急激な雨水の流入を防ぐだけでなく、ヒートアイランドの緩和にも役立つということを本会で知りました。

芝など緑地は雑草が発生しその管理コストを避けるためアスファルトやコンクリートで覆っている場所が多い都市部ですが、適正な管理をすることで維持管理コストは下げられ、環境メリットが高いということを示すために2023年に弊社が管理する駐車場・通路の一部を芝生化、地域の商店街を始め情報を共有しており、将来的にはアスファル

トやコンクリートである必要のない場所の緑化活動も事業として行っていきたいと考えております。

家庭菜園 SNS「菜園ナビ」

(株)オーレックホールディングス様より委託を受け、家庭菜園に特化したSNS菜園ナビの企画運営。

菜園ナビは家庭菜園者が抱える栽培の仕方への疑問、病虫害への対策などをユーザー同士の交流によって解決し、より楽しい菜園生活が送れるサポートをするサービスです。

実際に自分で農産物を栽培する人を増やすことで栽培することの楽しさはもちろん、その苦勞も体感してもらい農産物の持つ価値を多くの人に知ってもらいたいと考えています。

紅茶事業

茶の需要は年々下がってきており、茶農家の離農と茶畑の荒廃化は日本一の玉露の産地でもある八女も例外ではありません。そこで世界の三大紅茶である「ダージリン」「ウバ」「キムン」が緑茶品種であることに着目し、緑茶品種の中でも渋みの少なくうま味のある日本茶を紅茶にすることができれば渋みが少ない特徴的な紅茶ができるのではないかと考え2017年より八女茶を紅茶にする事業を開始。初年度に製造した紅茶は日本で初めてインド政府公認のダージリンティーの鑑定士から最高級ダージリンと同格の鑑定書をいただきました。現在は八女茶のパイロット地区八女中央大茶園で紅茶製造のコンサルティングと販売を行っています。



以上 4 つの分野で業務を行っておりますが、弊社は九大跡地の大規模な再開発が行われる箱崎地域にあります。先日再開発を担う企業グループによるコンセプト発表が行われましたが「ハコザキグリーンイノベーションキャンパス」とされていて、「みどりあふれる空間の創出」を方針の一つと掲

げています。弊社の芝生植生の維持管理については箱崎商店街ともその情報を共有しており将来的には再開発地区を含む新しい箱崎地域の緑化推進のきっかけになればと考えていますので当 NPO を通じて緑地管理について学んでいきたいと考えております。

編集後記・募集

6月に入り、早くも各地で 30℃を超える日が続いており、今年も酷暑となる予感がしています。つい先日刈り取ったばかりの雑草ですが、ふと外を見渡せば再び盛んに伸びてきており、そのたくましさを実感している今日この頃です。

さて、次回、第 15 号（9 月刊行予定）について、会員の皆さまのご協力を頂きたい、下記のコーナーへのご投稿をお願いする次第です。

・テーマ“困っている雑草”について、意見や技術情報など

・自由投稿：日頃の気づき、主張したいこと、技術・文献紹介等

・所属団体・企業の紹介

今号またはこれまでの記事についてのコメント、質問なども歓迎します。

ご連絡先：佐治健介（k-saji@bousou-ken.org）

ページ編集：宮井駿（京都大学雑草学研究室院生）